

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年5月11日	記入者		連絡先	451
平成18年度部名	土木部	課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
平成19年度部名	土木部	課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
事務事業名	水洗化促進事業				
予算上の事務事業名	水洗化促進経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			32630	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				
施策名	第3施策 下水道管理の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	下水道法 第2条第8号 第10条 第11条の3 下水道条例第9条 相模原市水洗便所改造等助成金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	指導・規制・許認可	▼	5 事業開始年度	▼	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
処理開始した公共下水道への接続率を向上させることにより、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、合わせて公共水域の水質の保全に資するため。			公共下水道未接続 家屋所有者等		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
下水道処理開始区域になってから3年以内にくみ取り便所を水洗便所に改造したり、浄化槽式便所を廃止して直接公共下水道に放流するための排水設備工事を行う世帯に対して、排水設備工事に要した費用の額に応じて、助成金を交付するものです。 申請件数 31件 交付件数 31件					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
助成金制度は、合併前の旧津久井町の独自事業であり、平成21年3月2日までに排水設備工事を行うものに助成される。					
8 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	634	2,895	2,895
一般財源	0	0	634	1,183	1,183
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	1,712	1,712
人件費の合計	0	0	1,610	1,610	1,610
事業コスト合計	0	0	2,244	4,505	4,505
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	水洗化促進事業			対象名称 と単位	助成金交付件数
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	1,817	3,487	3,487
対 象 数	0	0	31	120	120
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	58,613	29,058	29,058
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.50	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	助成予定件数	指標式と指標の説明	助成件数/助成予定件数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	31.0		
目標	0.0	0.0	72.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	43.1		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	水洗化率	指標式と指標の説明	水洗化人口/処理開始区域内人口×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	91.4		
目標	0.0	0.0	88.8	91.8	91.8
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	102.9		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
廃止	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		本事業は、旧津久井町の独自事業であり、合併後の平成21年3月2日までの特例事業である。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
			未水洗化の主な理由としては、経済的困難、建て替え予定、建物の老朽化をあげている。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
廃止	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・合併協議に基づきH21.3.2までは継続し、以降は廃止とする。 なお、このことについて、対象者に十分な周知を図ること。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・廃止			